

貴機関ご発行の JST 収集資料

(2022 年 12 月末日時点の JST 収集状況から)

	JST 資料番号	資料名
1	U0901AAW	日本クルーズ&フェリー学会論文集
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

誌名変更前誌においても、同様の資料の活用をさせていただきます。

令和5年3月

各位

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
情報企画部長 松尾 浩司

(ご案内) JST 収集資料の利用法について

平素より弊機構(JST)の科学技術情報連携・流通促進事業にご高配を賜り、貴重な資料をご提供くださっていることについて、厚く御礼申し上げます。

JSTでは、日本の科学技術振興を目的として、資料および掲載された文献情報の積極的活用を図っております。近年のオープンサイエンスの世界的な高まりや国内における著作権法や個人情報保護法の改正など周囲の環境変化を踏まえ、ご提供いただいた資料の活用について、あらためてご案内させていただきます。JSTの取組に引き続きご賛同いただくとともに、ご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

JSTが収集している資料は、主に以下の3つの目的で利用いたします。

1. 文献データベースへの文献情報の登載等
2. 文献データベース以外での文献情報の情報流通
3. 情報資料館での資料の利用

1. 文献データベースへの文献情報の登載等

収集資料の中からJSTが採択した記事(文献情報)は、JSTがデータ作成を行っている文献データベースサービス(JDream、J-GLOBAL等)及びその連携サービスに登載されます。

※JDream URL : <https://jdream3.com/>

(JSTが公募で選定した民間事業者がサービス運営しています)

※J-GLOBAL URL : <https://jglobal.jst.go.jp/>

両データベースサービスは多くの方に利用されており、優れた内容の記事や掲載誌の存在が、国内外に広く周知されます。本サービスを利用する研究者も多く、掲載記事が新たな研究の参考にされたり、引用文献として活用されることが期待されます。

通常、データベースに登録されるのは、以下の例1のように、タイトル（和文、英文）、著者名、著者所属機関名、資料名、巻、号、ページなどの書誌情報です。

【例1】書誌情報

整理番号：21A2282128

和文タイトル：ロボット教育×SDGsで「みんなが笑顔になれる」社会をつくる

著者名：追手門学院大手前中・高

資料名：Science Window (Web) JST 資料番号：U1478A ISSN：2433-7978

巻号ページ(発行年月日)：Vol.15, No.1, Page.12-15(J-STAGE) (2021.07)

資料種別：逐次刊行物(A)

発行国：日本(JPN) 言語：日本語(JA)

また、著作権者様から著者抄録の利用許諾が得られている場合に限り、和文著者抄録をそのまま掲載するか、英文著者抄録およびその和訳を掲載することがあります。

【例2】著者抄録

整理番号：17A1995501

和文タイトル：大規模な論文対訳データを利用した高精度な中日、英日ニューラル機械翻訳の開発
機械翻訳の飛躍的な発展～増え続ける国外文献からのスピーディーな情報収集への貢献～

著者名：中澤敏明（科学技術振興機構）

資料名：情報プロフェッショナルシンポジウム予稿集

JST 資料番号：L0793B ISSN：1349-5941

巻号ページ(発行年月日)：Vol.14th, Page.95-100 (2017.11.30)

資料種別：会議録(C) 記事区分：短報(a2)

発行国：日本(JPN) 言語：日本語(JA)

抄録：世界の科学技術の進歩のスピードが速まっており、また発信される情報も年々増加の一途をたどる中、必要な最新の情報にタイムリーにアクセスし、その概要を素早く把握する必要があることは明白である。JSTでは外国で発行される文献を収集し、その抄録を日本語で読めるようにするために、独自に高精度なニューラル機械翻訳エンジンを開発した。これにより、日本語への翻訳のための時間的、金銭的コストを大幅に縮小することができた。また開発したエンジンは機械翻訳の国際的な評価ワークショップの科学技術論文翻訳の全タスクにおいて最も高い精度を達成した。本稿では開発したエンジンの仕組みを解説し、その現状の翻訳精度や今後の課題について述べる。また科学技術論文だけでなく特許文など他のドメインへの適用可能性などについても述べる。(著者抄録)

この他、JST が記事の内容に相応しい抄録やキーワード、分類、ID 情報などの索引データを作成し、当該記事がデータベース利用者の検索でヒットしやすくなるようなデータ加工を行います。

【例 3】 JST の作成する抄録・索引

整理番号：17A1004503

和文標題：JST 科学技術用語シソーラスの改訂

英文標題：Revision of JST Scientific and Technological Thesaurus

著者名：山崎文枝（科学技術振興機構 情報企画部）

資料名：情報管理 JST 資料番号：F0392A ISSN：0021-7298

巻号ページ(発行年月日)：Vol.60, No.5, Page.365-368(J-STAGE) (2017)

写図表参：写図 4, 表 4, 参 2

資料種別：逐次刊行物(A) 記事区分：解説(b2)

発行国：日本(JPN) 言語：日本語(JA)

抄録：科学技術振興機構(JST)では 1975 年から科学技術分野の専門用語を体系的に整理した辞書として、「JST 科学技術用語シソーラス(JST シソーラス)」を整備している。2017 年 4 月、JST シソーラスを改訂し、それに伴う大規模辞書の修正、及び文献記事の修正を行った概要を報告した。

分類コード：AC05030W (002.5:025.3/.4:005)

シソーラス用語：*シソーラス, 専門用語, 改変, 辞書

準シソーラス用語：*JST 科学技術用語シソーラス, 改訂, 大規模辞書

著者 ID：山崎文枝 (201850000403320441)

機関 ID：国立研究開発法人科学技術振興機構 (201551000096240330)

一部の資料については、著作権法第 47 条の 5 に則り、記事の所在を案内するために本文情報の一部を表示することがあります。

【例 4】 本文一部表示

整理番号：21A2141382

和文標題：環境・エネルギー分野における研究開発の俯瞰～ゼロエミッション化に向けた技術動向と電力貯蔵技術への期待～

英文標題：Overview of Research and Development in the Environment and Energy Fields—Technology Trends toward Zero Emissions and Expectations for Power Storage Technology

【例4】(続き)

著者名：尾山宏次 (科学技術振興機構 研究開発戦略セ)

資料名：電気化学会大会講演要旨集(CD-ROM) JST 資料番号：Y0048B

巻号ページ(発行年月日)：Vol.88th, Page.ROMBUNNO.1U01 (2021.03.22)

資料種別：会議録(C) 記事区分：短報(a2)

発行国：日本(JPN) 言語：日本語(JA)

本文一部表示：1.講演概要.科学技術振興機構研究開発戦略センター(JST-CRDS)は我が国および人類社会の持続的発展のため、科学技術振興とイノベーション創出の先導役となるシンクタンクを目指した組織である。この目的達成のため、国内…【本文一部表示】

分類コード：LE01000E (620.92(2))

シソーラス用語：*研究開発, *排出量, *電力貯蔵

準シソーラス用語：*ゼロエミッション, *技術動向

以上のように、JST では著作権法を遵守したデータ収録・利用を行うこととしており、いずれの場合でも収集資料の記事の内容の全てが表示されるようなことは無く、利用者の求める情報が、当該資料に掲載されていることを知る事ができる、案内データベースのコンテンツとして用いられます。

また、著者名・著者所属機関名等の個人情報について、JST 文献データベースではあくまで当該記事の著者としての情報表示を行うなど、適切に用いられます。

<J-GLOBAL 出版者サイトへのリンクサービス>

「J-GLOBAL」では、検索結果の回答表示画面からその文献が掲載されている電子ジャーナルのトップサイト、掲載誌(資料)の紹介・販売サイト、出版者様のホームページ等へリンクする「出版者サイト」サービスを設けています。文献データベースに登載されることによりデータベース利用者からのアクセスがご期待いただけます。

【例5】J-GLOBAL 出版者サイト

The screenshot shows a search result for '産学官連携ジャーナル' (Journal of Industry-Academia-Government Cooperation). The main title is '引き継がれる被災地復興支援 東日本大震災' (Continued disaster recovery support for Great East Japan Earthquake). A red circle highlights the '出版者サイト' (Publisher Site) link. A red arrow points from this link to the publisher's website, which is visible in the background. The publisher's website header includes '産学官連携ジャーナル' and a navigation menu with items like 'レポート', '特集', 'クローズアップ', 'Biz & Company', '連載', 'シリーズ', 'ヒト', '研究＆エッセイ', and '海外'. The main content area features a red cover image of the journal and a list of back issues from 2023 to 2015. The search result details at the bottom include: 資料名: 産学官連携ジャーナル(Web) (Journal of Industry-Academia-Government Cooperation), 巻: 14 号: 9 ページ: 27-30 (WEB ONLY) 発行年: 2018年, JST資料番号: U1202A ISSN: 1880-4128 資料種別: 逐次刊行, 記事区分: 解説 発行国: 日本 (JPN) 言語: 日本語 (JA).

2. データベース以外での文献情報の情報流通

JST が収録した書誌情報(標題や著者名など)については、データベースサービス (JDream、J-GLOBAL への掲載や当該サービスの開発等を含む) 以外においても、科学技術に係る政策分析や研究開発等への利用など、科学技術情報の流通・利活用を促進する目的の下、積極的に活用することといたします。

ただし、著者抄録は、資料発行者様から許諾いただいた範囲内でのみ利用致します。

3. 情報資料館での資料の利用

JST 情報資料館(東京都千代田区四番町 5-3)は、著作権法第 31 条の適用を受ける図書館等として運営しています。

JST が収集した資料(冊子、電子媒体等)は、JST 情報資料館に一定期間保管され、著作権法に基づき、利用者に資料館内でのみ閲覧および複写サービスを提供しています。

JST 情報資料館について詳しくは、下記をご覧ください。

URL : <https://jipsti.jst.go.jp/jst-lib/>

4. その他

前記 1～3 以外の利用に関しましても、JST は著作権法や個人情報保護法、政府、文部科学省、文化庁等が定める法令・規則等を遵守しつつ、科学技術振興の実現のために有効な資料・文献情報の利用を検討・実施して参ります。

なお、JST が本事業で収集した個人情報(文献の著者名など)の取り扱いについては、以下の Web ページにポリシーを掲載しております。

URL : https://jipsti.jst.go.jp/about/pr/personal_info_jp/

科学技術の発展に貢献するべく、JST の取組にご賛同いただき、今後も資料のご提供を継続していただけますよう、お願い申し上げます。

上記につきまして、さらに詳細な説明が必要な場合や、ご質問がございましたら、下記にお問い合わせ下さい。

《お問合せ先》

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

情報企画部 資料収集業務担当

E-mail : siryouka@ca.jst.jp TEL : 03-5214-7627 FAX : 03-5214-8424

受付時間 10:00-12:00、13:00-17:00 (土日祝祭日除く)